



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第34号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年12月24日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



後期前半が終了します！



10月12日(火)から始まった後期前半ですが、本日12月24日(金)で終了となります。生徒の皆さんにとっての後期前半はいかがでしたか。この

間に行った活動や取組を通して、後期前半を振り返ってみましょう。

10月。公立高校入試説明会、音楽コンクール、薬物乱用防止教室、2・3年生実力テスト、福祉体験。

11月。福祉講座、トイレ清掃体験、第3回テスト、性教育講演会、スクールコンサート、ふるさと歴史発見学習、校区内クリーン作戦、環境教育、生徒会役員選挙。

12月。修学旅行、人権集会・人権コンサート、徳育講演会、環境教育(リモートでのインタビュー)、授業参観・懇談会、ふれあい学級での発表(吉井地区コミセン)、地域学習講演会、全校集会、大掃除。

以上、おもな活動や行事を挙げてみましたが、こんなに多くのことをやってきたのだと改めて驚いています。どの活動においても、生徒の皆さんは全力で取り組み、大きな成果をあげたと実感しています。

4月から事あるごとに、皆さんに伝えてきたのは「本物に学ぶ」「本物に触れる」ことこそ最大の学びにあるということでした。後期前半に行った多くの活動・行事が「本物に触れる」ことのできた貴重な機会でした。スクールコンサートでは長崎OMURA室内合奏団の、人権コンサートでは掛屋剛志さんの心に響く本物の音楽を聴かせていただきました。徳育講演会や人権集会では、本物の心を磨く学びをしました。環境教育や福祉体験では、最新でリアルな本物の話を聴かせていただきました。トイレ清掃体験・校区内クリーン作戦では、自分たちの手で本物の活動を実際に行いました。そして、修学旅行・ふるさと歴史発見学習では、「百聞は一見に如かず」の言葉通りに本物を目の当たりにし、本物に触れた活動となりました。

こんな取組や学びが、今の吉井中を支えています。吉井中の153名は、一人一人が本物になってきていると確信しています。その証拠に、笑顔が素敵になってきました、学校がずいぶん落ち着いてきました、授業に臨む姿勢に真剣さが増してきました、登校時間が早くなってきました、トイレが見違えるようにきれいにな

りました、学校内でのトラブルが減ってきました、挨拶や言葉遣いが格段によくなってきました、部活動での表彰が増えてきました、水槽の魚たちを優しい目で見ていました、花壇や道路の植え込みの花にいたずらをする生徒がいまませんでした、地域の方々からの評判がよくなりました・等々、挙げればきりがなくらいです。今年度のスローガンである「もっと!よしっ!いいね!」を体現してくれていると心から嬉しく思っています。



でも、まだまだ皆さんには「伸びしろ」があります。例えば、「シューズを持ち帰らない」「何かと忘れ物がある」「給食の好き嫌いがある」「時々騒いでしまう」「自主学習の時間が少し短い」「自転車に乗るときにヘルメットを着用しない」など、まだ頑張らなければならないこともあります。人は「まだまだ」という思いがある限り伸びていくものです。2021年が終わり、2022年を迎えます。現状に満足せず、新しい年には、一歩前進する生活をして今以上に本物に近づいてほしいと願っています。

ただし、「歩」の字のごとく、時には少し休んで力を蓄えながら、弛みなく歩を進めていく人生であってほしいと思います。



吉井中に関わる全ての人のために2022年(令和4年)が素晴らしい年となりますように心から祈っています。一年間ありがとうございました。どなた様もよい年をお迎えください。

保護者さま・地域の皆さま

今年1年、物心両面にわたり、吉井中をしっかりと支えてくださり、心から感謝申し上げます。また、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、重ねて感謝いたします。昨年から続く、コロナ禍でしたが、「with コロナ」の言葉通り、今年は多くの行事を実施することができました。雨の体育大会は本当に申し訳ない思いでいっぱいでしたが、その後の行事が晴れ続けたということで、私の「雨男疑惑」は晴らされたのではないかと胸をなでおろしています。この1年でお子様は着実に心身ともに成長しています。試しにお子様の隣に並んでみませんか。ずいぶんと背丈も大きくなっていることでしょう。きっと背丈だけではなく、心も大きく、強く、たくましく、そして優しく育っていると思います。

新しい年を迎えますが、新年も変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

保護者・地域の皆様も健やかな新年をお迎え下さい。2022(令和4)年もどうぞよろしくお願いいたします。

みんなの善意「赤い羽根」7476 円

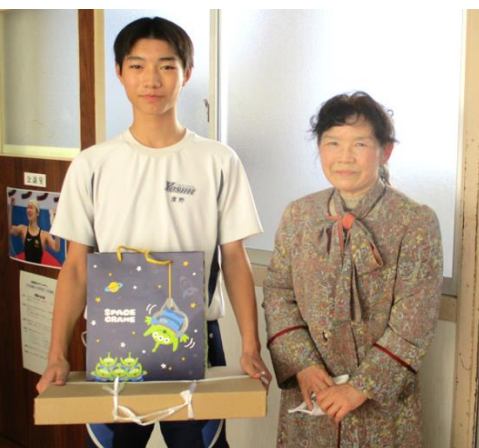


給食専門
委員会が中
心となって、
11月15日
(月)～11月
19日(金)の
5日間、「赤
い羽根共同
募金」の活動
を行いまし

た。本校では、**総額7,476円**が集まり、12月13日(月)、集まった募金を佐世保市社会福祉協議会の担当者へ無事にお渡ししました。今回の募金では、自分のお小遣いの中から出したという生徒もいて、嬉しく思いました。この善意が多くの方々や社会のお役に立てばと願っています。

善行が素敵な結末になりました。

3年生の濱野翔稀さんが、路上で困っている方に声をかけ、道案内したことで、お礼のはがきをいただいたことについては「耕心」第16号でお伝えしました。そして、何と先日お礼のはがきを送ってくださった方(佐世保在住)が来校され、約束していた自作の絵と感謝の言葉を生徒に贈ってくださいました。「途方に暮れていた時に親切にしてもらって本当にありがたかった。」という言葉に対して、「当たり前のことをしてだけです。」と堂々と言っている濱野さんの姿に心から感心させられました。今回は絵を贈るという約束が果たされたことで、約束の大切さや他者(大人)への信頼感も高まったことと思います。



当たり前のことが当たり前にできない(やりにくい)時代にあって、本当に嬉しい出来事でした。

生徒の皆さんも困っている人を見かけたりしたら、恥ずかしがったりせずに、「どうしたんですか」「何か手伝いましょうか」のひと声をかけられる吉井中・吉井町にしていきましょう。

有意義な冬休みにしましょう！

冬休みを迎えます。「冬休みの生活心得」をしっかりと確認し、有意義な冬休みにしてほしいと思います。特に生活リズムを整えること、課題に計画的に取り組むこと、スマホなどの使い方の約束を守ること、SNSなどのトラブルに巻き込まれないこと等々、自覚と責任をもって冬休みを過ごしましょう。そしてお家の手伝いも絶対にやりましょう！これが何より一番です！

12月の「よしっ！いいね！」

12月の「よしっ！いいね！」より紹介します。

★1年生

Mさん「困っている人を助けていた。」
Kさん「重たいものを一緒に持ってくれた。」

★2年生

Nさん「笑顔で話しかけてくれた。」
Mさん「3分前着席を呼び掛けていた。」

★3年生

Yさん「休んでいた時のノートを見せてくれた。」
Hさん「修学旅行の班長としてみんなをまとめていた。」



1月(睦月、January)の行事

- 1日(土) 元日～3日(月) 年始休業
- 4日(火) 学校開庁・仕事始め
- 10日(月) **成人の日** ●冬季休業最終日
- 11日(火) **後期後半授業開始日** ●給食あり
全校集会・生徒会引継式・体位測定
専門委員会
部活動休養日・定時退勤日①
- 12日(水) **実力テスト**・安全点検
部活動休養日・定時退勤日②
- 13日(木) **実力テスト**・職員会議
●書写展(～16日まで島瀬美セ)
- 14日(金) 英語検定
- 15日(土) 佐世保高専推薦入試
- 16日(日) **家庭の日・ノ一部活動デー**
- 18日(火) **佐世保市内私立高校特別入試**
(推薦・単願・専願) **長崎日大高入試**
部活動休養日・定時退勤日①
- 19日(水) 食育の日・全校朝会
部活動休養日・定時退勤日②
- 22日(土) 青少年育成研修会(清水地区コミセン)
- 24日(月) 私立高校受験事前指導
- 25日(火) **九州文化学園高一般一次入試**
部活動休養日・定時退勤日①
- 26日(水) **令和4年度吉井中学校入学説明会**
九州文化学園高・西海学園高一般入試、部活動休養日・定時退勤日②
- 27日(木) **久田学園高一般一次入試**
- 28日(金) 専門委員会
聖和女子学院高・佐世保実業高一般一次入試

